

### 会長の挨拶 13 ライオンズクラブの創立

ライオンズクラブの創立は、ロータリーとキワニスの創立とは著しい対蹠をなす。ライオンズ必携によると、1917年にアメリカのテキサス州のダラスである奉仕クラブの会員で保険業を職業分類としていたメルヴィン・ジョウンズ **Melvin Jones** という人が、その奉仕クラブの理論に著しい疑問をもち、奉仕する者は理論的唱導だけではならず、実践を主体とするものでなければならないこと、ならびに実践とは社会が当面、現実に財源を要求している事項に対して金銭の補給を行うことでなければならないと確信するに至った。

そこで、ジョウンズは自分の所属するクラブを退会し、彼の理論に基づく新たな奉仕クラブを創立し、その名称に自由・知性・愛国 **Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety** の頭文字をとりライオンズクラブ **Lions Club** と呼んだ。

このようにして、ライオンズクラブはその基本的哲理においては、ロータリーやキワニスと全く同一基盤に立ちながら、その哲理の実現方法の理論については、反ロータリーかつ反キワニスの立場をとるが、その会員資格についてはキワニスと同一態度—住所地会員と公選制是認—をとりながらも、他方、クラブ活動の地域性についてはロータリーと同一方法をとるというまことに興味深い発展をしている。

なお会員数から言えばライオンズ・ロータリー・キワニスの順序となる。

(小堀憲助著 『ロータリー思想の理論構造』より引用)